

# 納奉宮神峯白

場所 白 峯 神 宮 神 樂 殿  
日時 令和6年5月5日(日) 午前10時

主催 白 峯 神 宮  
宮 司 山 田 蓉  
共催 日本古武道振興會  
會 長 加 藤 紘

# 白峯神宮奉納演武

参加流派 27 参加人数 110 名

- 1 鞍馬流剣術 (柴田 章雄)
- 2 兵法タイ捨流 (上原エリ子)
- 3 細川家伝統兵法二天一流 (宮田 和宏)
- 4 双水執流小具足腰之廻組討 (宇佐美 裕司)
- 5 関口流新心流柔術 (関口 芳夫)
- 6 田宮流居合術 (妻木 達夫)
- 7 神道無念流剣術 (小川 武)
- 8 夢想神伝流居合術 (高橋 次秀)
- 9 天真正伝香取神道流兵法 (飯篠 快貞)
- 10 無想神傳流拔刀術 (小川 武)
- 11 戸山流拔刀道 (中村 朋子)
- 12 天然理心流 (大塚 篤)
- 13 直心影流薙刀術 (荻原 晴子)
- 14 小野派一刀流剣術 (鈴木 ゆき子)
- 15 柳生心眼流體術 (梶塚 靖司)
- 16 澁川一流柔術 (森本 邦生)
- 17 小野派一刀流 (矢吹 裕二)
- 18 淺山一傳流兵法 (関 展秀)
- 19 神夢想林崎流居合術 (鈴木 ゆき子)
- 20 琉球古武術 (井上 貴勝)
- 21 無双直伝英信流居合兵法 (石本 一平)
- 22 無雙神傳英信流拔刀兵法 (森本 邦生)
- 23 夢想神伝居合林崎重信流詰合 (津村 恵治)
- 24 森重流砲術 (長塚 正晃)
- 25 天道流薙刀術 (木村 恭子)
- 26 神道夢想流杖術 (江角 和敏)
- 27 立身流 (加藤 紘)

令和 6 年 (2024) 5 月 5 日

白峯神宮 奉納演武順序

一、鞍馬流劍術 (大野將監)

柴田章雄 (東京都)  
柴田章雄  
柴田章雄  
松井康一

二、兵法タイ捨流 (丸目藏人佐藤原長恵)

上原エリ子 (熊本県)  
山上英樹  
山本隆博  
田中英樹  
ゴムリア・ジュフリー  
松岡慎也  
児玉潤智

三、細川家伝統兵法二天一流 (新免武藏玄信)

宮田和宏 (福岡県)  
宮田和宏  
長富昭長  
篠田雅夫  
河上裕彦

四、双水執流小具足腰之廻組討（二神半之助正聴）

宇佐美 裕司（埼玉県）  
宇佐美 裕二 司  
馬場 真一郎  
新井 倫史  
蛭田 倫史

五、関口新心流柔術（関口弥六右衛門氏心）

関山 芳夫（和歌山県）  
関中 聡  
大木 正太郎  
北口 貴裕  
福岡 雅隆  
関口 一己  
心

六、田宮流居合術（田宮平兵衛業正）

妻木 達夫（神奈川県）  
石川 木達  
長野 孝定  
公原 照俊  
比嘉 宗平

七、神道無念流剣術（福井兵右衛門嘉平）

小川 武昭（東京都）  
萩川 成彦  
掛川 成彦  
柴田 勝也

八、夢想神伝流居合術（林崎甚助重信）

高橋次秀（東京都）

九、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

飯篠快貞（千葉県）

十、無想神傳流拔刀術（林崎甚助重信）

小川武（東京都）

十一、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

中村朋子（神奈川県）

高平橋次  
清水本  
橋利次  
陽理公  
恵則  
斗子正

荒成野  
櫻毛野  
近藤俊  
吉田友  
樹紀也

萩崎  
高田  
柴田  
勝一  
昭男

中野朋子  
高野弘  
阿部英夫

十二、天然理心流（近藤内蔵之助藤原長裕）

十三、直心影流薙刀術（山田平左衛門藤原光徳）

十四、小野派一刀流劍術（伊藤一刀齋景久）

十五、柳生心眼流體術（荒木又右衛門）

大塚篤（茨城県）

栗原正徳  
助川弘人  
松永典剛  
市川

荻原晴子（兵庫県）

資延妙子  
香川隆子  
山口三子  
小林文江

鈴木ゆき子（東京都）

鈴木木香子  
鈴木真地  
後藤典則  
五嵐正典  
酒井政章  
宮内

梶塚靖司（栃木県）

高橋慶太  
前田樹里

十六、澁川一流柔術（首藤藏之進滿時）

十七、小野派一刀流（伊藤一刀齋景久）

十八、淺山一傳流兵法（淺山一傳齋重晨）

十九、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

森本邦生（広島県）

原堂内森  
田元住本  
淑慎信邦  
子介之生

矢吹裕二（東京都）

加粕  
藤井  
岳  
司誠

関展秀（茨城県）

菅後黒塚関  
野藤澤田  
大慧佳展  
颯輔大壱秀

鈴木ゆき子（東京都）

宮酒後鈴木  
内井藤木  
正真理香  
一章典香

二十、琉球古武術

二十一、無双直伝英信流居合兵法 (林崎甚助重信)

二十二、無雙神傳英信流拔刀兵法 (林崎甚助重信)

二十三、夢想神伝居合林崎重信流詰合 (林崎甚助重信)

井上貴勝 (東京都)

山田口 藤田 井上 宮本 楠見 一俊 義千 量

石本一平 (兵庫県)

森本邦生 (広島県)

森住本 内元 堂元 淑慎 信邦 子介 之生

津村惠治 (埼玉県)

安村 関生 神田 安生 房伸 展和 信治 秀之



二十四、森重流砲術（森重鞆負都由）

長塚正晃（東京都）

長塚正晃  
林塚正晃  
石原由佳理  
藤沢文子  
文子

二十五、天道流薙刀術（齋藤判官伝鬼房）

木村恭子（東京都）

和置田恭子  
玉置田捷子  
井上美子  
貴島

二十五、神道夢想流杖術（夢想権之助勝吉）

江角和敏（東京都）

江角和敏  
朝奈辰樹  
澤田雄也  
鹿野哲也  
青木

二十五、立身流（立身三京）

加藤紘子（千葉県）

加藤裕介  
加藤紘子  
江尻

## 古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。

古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によつて得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもつて自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月二日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮(式年遷宮年)、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引き続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鋭」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鋭」別冊で同じく流儀解説を紹介し、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年(昭和五十六年)に発行し、創立五十周年(昭和六十年)からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。

平成二十七年七月十九日(日)には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。

令和二年七月五日(日)には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。



# 日本古武道振興会

事務局 〒160-0016 東京都新宿区信濃町11-12 柴田章雄

ホームページ <http://kobushin.jp/>  
メール [kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp](mailto:kobudoushinkoukai@yahoo.co.jp)